

CAD情報

スムーズな電子納品と工期短縮に貢献する
『AutoCAD LT Civil Suite 2012』

現在、土木業界の中小企業が直面している大きな課題の一つが、公共事業における電子納品への迅速な対応である。オートデスクでは、そうした中小企業を強力に支援するために、電子納品用の図面データ[SXF]をスピーディに作成できる『AutoCAD LT Civil Suite 2012』を新たにリリースした。さまざまな電子納品の仕様に柔軟に対応し、作業効率の向上によって全体の工期短縮にも大きく貢献する。

土木業界の環境変化に即応し
中小企業のIT化を強力に支援

オートデスクは、東日本大震災の復興支援策として、被災地の緊急インフラ復旧や復興計画の策定を担っている官庁や自治体などを対象に、オートデスクのすべてのCAD製品を2011年12月31日まで無償提供する施策を実施している。申込期間は2011年5月16日～2011年11月30日で、8月末時点で約120本のCAD製品を貸し出した実績があり、その4割近くが土木系CAD製品である。

その一方で、国土交通省は平成23年度から公共事業に電子納品を適用すると発表し、これを受け、地方自治体でも電子納品を適用するところが増えている。さらに国土交通省は、電子データをすべての工程に活用する「情報化施工推進戦略」を策定し、平成25年度からの実施を目指している。そのため、土木業界では早急な情報化対策が求められている。

だが、土木工事を行っている中小企業の多くは、IT

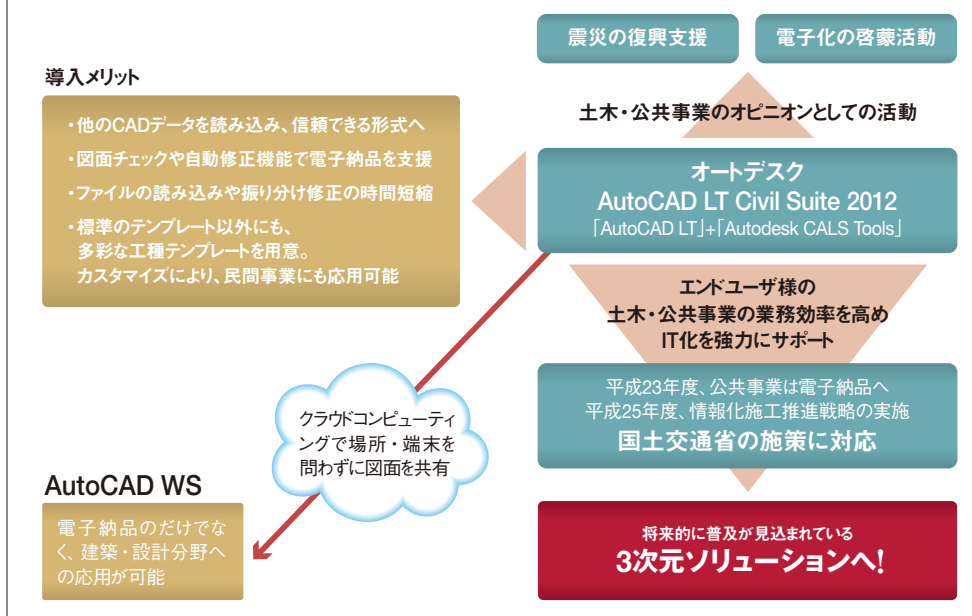
化への対応がそれほど進んでおらず、具体的な対処に苦慮している実情がある。そのため、オートデスクでは、「地方自治情報化推進フェア2011」に出展するなど、電子納品や情報化施工に関するイベントやセミナーに積極的に参画している。

「公共事業の電子納品は始まっていますが、コストやスキルの問題で、完全に普及していない現状です。ネットワーク環境が整ったことにより、より電子データの流通がしやすくなりました。

情報をより活用し、業務の効率を向上させるための具体策として、エンドユーザー様の電子納品への対応を強力に支援する『AutoCAD LT Civil Suite 2012』をご案内しています」と社会・公共ソリューション シニアセールスマネージャー 高倉 昌郎氏は話す。

同製品は、世界中で利用されている2次元CADの定番である『AutoCAD LT』と、電子納品データ作成時の時間短縮とコスト削減を実現する『Autodesk CALS Tools』がセットに

■土木・公共事業のベストソリューション『AutoCAD LT Civil Suite 2012』





社会・公共ソリューション
シニアセールスマネージャ
高倉 昌郎 氏



AECソリューション
リーダー/ソリューション コンサルタント
博士(工学)/測量士/SXF技術者
緒方 正剛 氏

■ Autodesk SFX Viewer 2011

オートデスクでは、国土交通省の電子納品
図面(SXF)用ファイルブラウザ、Autodesk
SFX Viewer 2011を無償提供している。
Autodesk SFX Viewer 2011 は、公共事業
などで広く使用されている CAD データフォー
マットである SXF ファイル(*.p21、*.sfc)を正
確に表示し、図面内容を目視確認、CAD製
図基準チェック、印刷できる。



なったもので、まさに土木設計・電子納
品用のベストソリューションである。

公共事業の電子納品を迅速化し 工期短縮で企業競争力をアップ

電子納品用の図面データ「SXF」
は、オープンCADフォーマット評議会
(OCF)の検定に合格していること
が品質面の目安となる。『Autodesk
CALS Tools』は、その検定に合格
した「SXF」を簡単に作成でき、
『AutoCAD LT』などで作成した
「DWG」や「DXF」データからSXF
データへの変換をスムーズかつ高速
に行うことができる。また、各自治体によ
って異なる電子納品の仕様に柔軟に対応
できるテンプレートも用意されている。そ
のため、煩雑な電子納品の作業が迅速
かつ正確に行え、設計品質を維持した
まま全体の工期を短縮できるようになる。

土木系の中小企業は、さまざまなCAD
ソフトを使っているが、『AutoCAD LT
Civil Suite 2012』は、それらのデータを
読み込み、高品質な「TrustedDWG」
へ変換し、『AutoCAD LT』の設計環境
に継続できるメリットもある。公共事業で
は「DWG」の図面データの提出も求めら
れるケースが多いので、かなり重宝する
だろう。また、オートデスクでは、電子納

品用の図面データ「SXF」を確認できる
無償のビューソフト『Autodesk SFX
Viewer 2011』も提供しているので、エン
ドユーザー様の実情に応じた最適な提案
が行える。

「電子納品への対応はもちろんです
が、建築・設計の分野でも『AutoCAD
LT Civil Suite 2012』を活用する新し
いご提案を行っています。例えば、先に
紹介したテンプレートは、建築系の納品
仕様にカスタマイズできるので、民間業
務で元請けが求めるデータへの変換
ツールとしての利用も可能です」とAEC
ソリューション リーダー 緒方 正剛氏

は話す。さらに、社内では『AutoCAD
LT』を使用し、建設現場では、Webブ
ラウザやモバイル機器から「DWG」図
面を閲覧・編集できるクラウドサービス
『AutoCAD WS』を利用するといった
複合的な提案は、パートナー様の商機を
拡大するきっかけになりそうだ。

将来的には、土木・公共事業の分野
でも3次元対応が迫られると見込まれて
いる。オートデスク製品なら『AutoCAD
LT』の2次元データの資産をそのまま受
け継げる3次元CADも販売しているの
で、将来の3D化を見据えたIT環境を構
築できる点も大きな魅力である。■BP

■ 電子納品を支援する『Autodesk CALS Tools』の注目機能

利用している他のCADデータの読み込みに 対応し、高品質なデータへ変換

DXF/DWGはもちろん、電子納品データであるSXF
形式に加え、JW_CAD のデータ読み込みにも対応。
今の環境を壊すことなく、電子納品に対応するこ
とができます。



図面チェック&自動修正機能

CAD 製図基準(案)に沿った線(種類、色、太さ)、文字(高さ)を
チェックし、エラーを検出し、自動修正します。※ CAD 製図基準(案)
の規定では、電子納品の図面データの背景は「黒ベース」です。



図面のエラーチェック結果表示
緑色6カ所 線種1カ所 線幅4カ所 文字高1カ所

拡大図



レイヤ別に別れてエラーを確認